

住民の努力で神社の本の 成長とともに栄えてきた



丸山墓地公園からの眺望

明治36年（1903年）、中央線の測量が始まると、瀬沢新田から駅予定地の近くの蛇込に家を建て、人が集まり、集落ができ瀬沢新田西組と呼んだ。大正2年（1913年）には富士見駅近くの瀬沢地籍にも家が建ち、村の指導で二つの集落が一つになり富里区が出来た。氏神様は、はじめ瀬沢の諏訪社から分祀して石祠に安置した。



富里諏訪神社

昭和12年（1937年）に諏訪神社上社の神を分祀し、諏訪神社の建物をいただいてその社殿に神様を安置した。社殿の前に植えられたケヤキは大きく成長して直径1メートル余りの巨木になっている。富里区の南端の丸山墓地公園からの眺めは素晴らしく、北に八ヶ岳連峰が連なり、すそ野が広々と広がり、東に富士山が望まれる。西には甲斐駒ヶ岳をはじめ赤石山脈の山々が連なっている。大正2年当時、採氷業を営む方がおり、集落の広い範囲で採氷が行われた。冬の夜、製氷を切り木のレールの上を滑らせて、駅ホーム北の水蔵へ運ぶ音が夜の闇に響いた。

【選定・評価 加々見一郎氏】

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。

広 告

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html> の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体	単位等	広告料
広報ふじみ	下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル)	1回 5,000円
町のホームページ(町民のページ)	トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)	月額 5,000円

- ◆町の人口と世帯数 平成27年10月1日現在(前月比)
住民基本台帳人口 男性／7,359人(+3) 女性／7,684人(-10) 合計／15,043人(-7) 世帯／5,875世帯(+2)
- ◆発行日 平成27年11月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール fujimi@town.fujimi.lg.jp ◆印刷 (有)富士見印刷